

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-155344

(43)公開日 平成7年(1995)6月20日

(51)Int.Cl.⁶

A 6 1 F 5/44

A 4 1 B 9/12

A 6 1 F 13/15

識別記号 庁内整理番号

H 7108-4C

E

F I

技術表示箇所

A 4 1 B 13/02

A 6 1 F 13/16 360

審査請求 未請求 請求項の数2 O.L (全4頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願平5-307753

(22)出願日

平成5年(1993)12月8日

(71)出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72)発明者 山本 正満

愛媛県川之江市金生町下分乙18-32

(72)発明者 八巻 留美

愛媛県川之江市金生町山田井1203

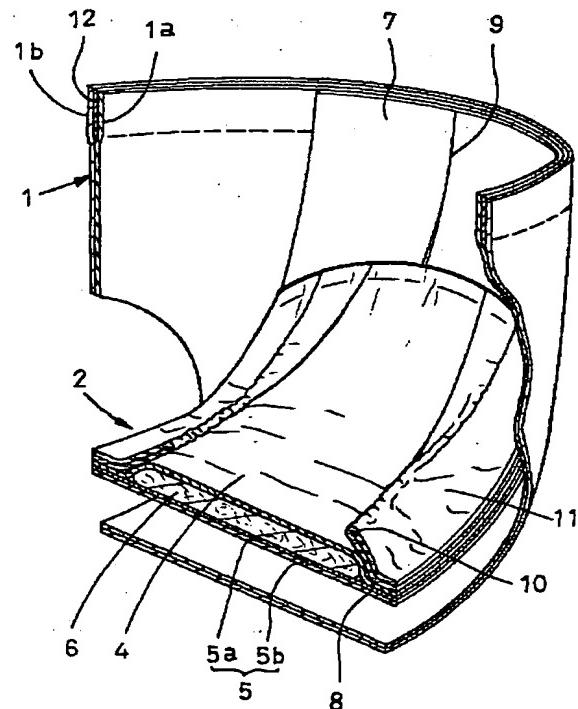
(74)代理人 弁理士 白浜 吉治

(54)【発明の名称】 使い捨てパンツ

(57)【要約】

【目的】失禁パッドなどのパッド部材を着用者の股下に常に弾性的に密着させることで、排泄物の受容の確実性と漏れ防止をはかる。

【構成】伸縮性パンツ部材1と、その内側に前後へ伸びるエンドフラップ7を介して吊持したパッド部材2とから構成してある。エンドフラップ7は、これにその幅を二分するスリット9を設け、着用中におけるパンツ部材1のウエス周りの伸長に伴ってスリット9を介してV字形に拡開し、パッド部材2を安定的に吊持する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】ウエストホールと一対のレッグホールとを有する伸縮性パンツ部材と、パッド部材とから構成した使い捨てパンツにおいて、

前記パッド部材は、透液性トップシートと不透液性バックシートとの間に吸液性コアを介在させ、前記コアの長さ方向両端及び幅方向両側縁からそれぞれ外側へ延出してエンドフラップ及びサイドフラップを形成し、前記エンドフラップの各々にその幅を二等分し長さ方向端へ延びるスリットを設け、前記サイドフラップの各々の長さ方向両端部を外側へ倒してそれら両端部を固定することにより構成し、前記パッド部材の股下領域の下面と前記パンツ部材の股下領域の内面との間に間隙が形成されるように、前記エンドフラップの各々の先端部を前記パンツ部材の内面におけるウエスト近傍に固定してあることを特徴とする使い捨てパンツ。

【請求項2】前記エンドフラップ及びサイドフラップにそれらの長さ方向への伸縮性を付与してある請求項1に記載のパンツ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、一回の使用で捨てるいわゆる失禁パンツ、生理用パンツなどの使い捨てパンツに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、失禁パンツとして、パンツの内側に保持バンドを吊持し、その保持バンドにこれとは別体の吸収性パッドを保持するようにしたものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記パンツは、使い捨て用ではないため、その洗濯と、吸収性パッドの取り替えとが必要であるうえ、吸収性パッドが着用者の股下に十分に適合密着せず、違和感を与え、尿が不用意に漏れることがあった。

【0004】この発明の課題は、吸収性パッドを着用者の股下に適合密着するように形成するとともに、その両端部に吸収性パッドを安定的に吊持するストラップ機能を有するものを延出した使い捨てパンツを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明に係る使い捨てパンツは、前記課題を解決するため、ウエストホールと一対のレッグホールとを有する伸縮性パンツ部材と、パッド部材とから構成した使い捨てパンツにおいて、前記パッド部材は、透液性トップシートと不透液性バックシートとの間に吸液性コアを介在させ、前記コアの長さ方向両端及び幅方向両側縁からそれぞれ外側へ延出してエンドフラップ及びサイドフラップを形成し、前記エンドフラップの各々にその幅を二等分し長さ方向端へ延びる

2

スリットを設け、前記サイドフラップの各々の長さ方向両端部を外側へ倒してそれら両端部を固定することにより構成し、前記パッド部材の股下領域の下面と前記パンツ部材の股下領域の内面との間に間隙が形成されるように、前記エンドフラップの各々の先端部を前記パンツ部材の内面におけるウエスト近傍に固定してあることを特徴とする。

【0006】この発明の好ましい実施例では、前記エンドフラップ及びサイドフラップにそれらの長さ方向への伸縮性を付与してある。

【0007】

【作用及び効果】この発明に係るパンツは、着用したとき、パンツ部材のウエストホール及びレッグホールがその収縮性で身体のウエスト及びレッグ周りに密着し、しかも、スリットを介して互いに隣接して吊持機能を果たす一対のエンドフラップが、ほぼV字形に拡開してパッド部材を安定的に吊持し、これらエンドフラップの収縮性によって着用者の股下側へ引き上げられて股下に当接するとともに、両サイドフラップの外側領域がその伸縮性によって着用者の股下、特にその付け根近傍の大腿内側に弾性的に密着する。

【0008】着用者の股下に装着されたパッド部材は、両サイドフラップがこれらの伸縮性材の収縮によって着用者の肌側へ起き上がり、全体として横断面がほぼU字形又は逆Ω字形かつ縦断面がほぼ弓形をなす船形に形成され、排泄物を外側へ漏らすことなく完全に受容しコアが吸収保持する。

【0009】

【実施例】図1ないし図3において、この発明に係るパンツは、パンツ部材1と、パッド部材2とから構成してある。

【0010】パンツ部材1は、前後身頃の両側縁を超音波溶着・熱溶着・接着剤などの接合手段で接合し、ウエストホール及び一対のレッグホールを形成した公知の形態であって全方向への伸縮性を有し、その収縮性で着用者のウエスト及びレッグホールが着用者のウエスト及びレッグ周りに密着する大きさにしてある。

【0011】パッド部材2は、透液性トップシート4と、不透液性バックシート5との間に比較的小さくて細長い吸液性コア6を介在させ、バックシート5をコア6の長さ方向両端から、かつトップ及びバックシート4、5をコア6の幅方向両側縁からそれぞれ外側へ延出してエンドフラップ7及び第1サイドフラップ8を形成し、第1サイドフラップ8におけるトップ及びバックシート4、5の側縁を接合してある。

【0012】エンドフラップ7にはその幅を二等分し長さ方向端へ延びるスリット9を設けてある。エンドフラップ7は適度の伸縮性を有することが好ましく、そのようにするには、バックシート5として少なくともパッド部材2の長さ方向への伸縮性を有するものを用いるか又

はこれらに弾性部材を伸長下に取り付けるかすればよい。

【0013】第1サイドフラップ8の上面には、二つ折りし折り目に沿う内面に弾性部材10を伸長下に取り付けた第2サイドフラップ11をその折り目と反対縁部において接合してある。第2サイドフラップ11は、その長さ方向両端部を外側へ倒し、超音波溶着・熱溶着・接着剤などの接合手段で固定してある。従って、第2サイドフラップ11は、弾性部材10の収縮性で起き上がり性向を有している。図示していないが、第2サイドフラップ11は、第1サイドフラップ8を幅広く延出し、その延出部分で形成してあってもよい。

【0014】こうしたパッド部材2は、その股下領域の下面とパンツ部材1の股下領域の内面との間に間隙が形成されるように、エンドフラップ7の両端部をパンツ部材1の内面におけるウエスト近傍に超音波溶着・熱溶着・接着剤などの接合手段で固定してある。

【0015】なお、パンツ部材1としては、伸縮性不織布1aと伸縮性・透湿性プラスチックフィルム1bとのラミネートを用い、そのウエストにその囲り方向へ伸縮し該ラミネートよりも伸長応力が高い弾性部材12を取り

り付けてある。パッド部材2のバックシート5としては伸縮性不織布5aと伸縮性・透湿性プラスチックフィルム5bとのラミネートを、トップシート4としては不織布を、コア6としてはラッパルプに超吸収性ポリマー粒子を混合したものを、第2サイドフラップ11としては撥水処理した不織布を、それぞれ用いることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る実施例を示すパンツの斜視図。

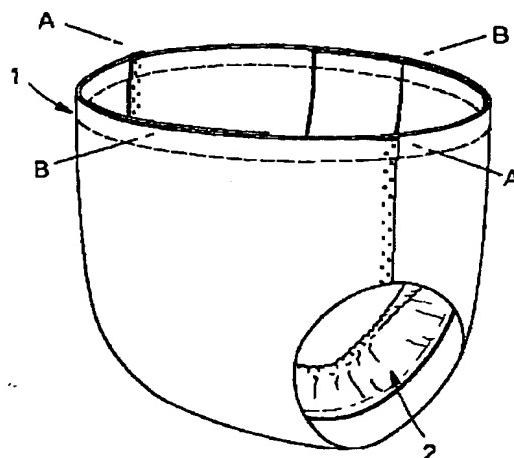
10 【図2】図1A-A線断面斜視図。

【図3】図1B-B線断面図。

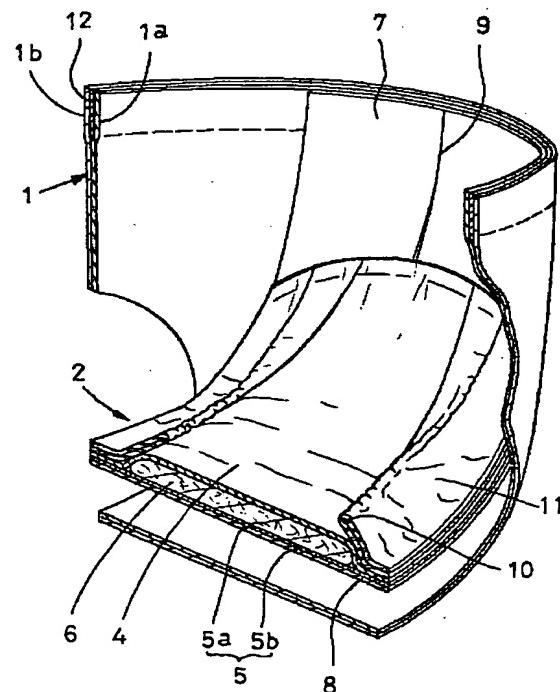
【符号の説明】

- 1 パンツ部材
- 2 パッド部材
- 4 トップシート
- 5 バックシート
- 6 コア
- 7 エンドフラップ
- 8 第1サイドフラップ
- 9 スリット
- 11 第2サイドフラップ

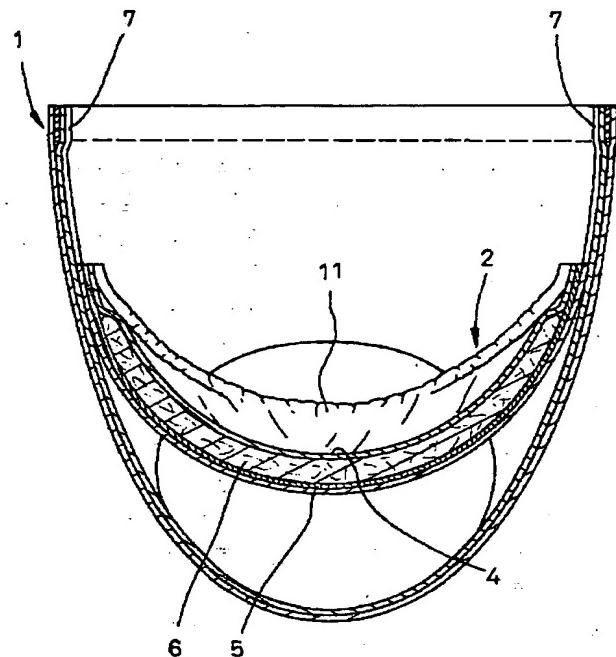
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 1 F 13/72